

令和3年度 第1回教育課程編成委員会 報告

1. 開催日時

令和3年12月22日（水）16：25～17：30

2. 開催場所

3階会議室

3. 委員

	氏名	所属等	出欠
	竹本 榮	大阪市私立保育園連盟副会長	出席
	宇都宮 彰治	元大阪市立学校園長	出席
	水戸井 ゆかり	第二善児園園長	出席
	萩野 寿美	勝山愛和第四幼稚園 園長代理	出席
	福本 光美	勝山愛和第二幼稚園 園長代理	出席
	三上 教道	学校長	出席
	吉本 春樹	副校長	出席
	三上 聡子	学科長	出席
	入江 実	教授	出席
	西林 幸三郎	特任教授	出席
	日村 義正	学務次長	出席
	松葉 修孝	学務部	出席
	中島 仁志	学務部	出席

4. 内容

1) 挨拶

教育課程編成委員会の会議の趣旨及び、保育者養成において必要とする内容を、教育保育現場の意見を拝聴し、令和4年度に向けて教育課程のカリキュラムなどの取り組みの参考とした。

2) 教育課程について

教育課程に学校独自の科目設定の一環として、令和3年度「特別講座」の概要を説明

① 身体表現

授業概要は、子どもの身体表現についての理論と実践についてふれる。また、学生自身が体でダンスにふれ、感じる・考える・表現するなど学生が自ら参加し、授業を楽しむ。

② 手話

授業概要は、手話を学ぶ中で聴覚障がい者を取り巻く社会環境・現状などを学び、現場などで活用できるようにする。

③ 保護者対応

授業概要は、保育者対応の基本となる考え方や乳幼児の発達や特性等を習得したうえで、子ども理解並びに保育内容や方法等保育者としての役割を理解し、その専門性を高めるための実践的方策を学ぶ。また、保育の現状と課題について考える。

この特別講座の中で、「保護者対応」の授業担当された西林先生から説明

各グループでの保育現場での事例を基にロールプレイングの経験と、園に保護者から電話があった場面における電話での保護者対応についてロールプレイングを実施し、学生が真剣に討議したことについて、教育保育現場での意見を伺った。

3) 意見交換

特に電話対応を中心に

- 新人職員には保護者対応は難しい一面がある。そのため、複数で保護者対応をするようにしている。
- 毎年、4～6月の期間は新人の先生は、まず話を聞くことに徹している。また、保護者対応時経験者の先生と一緒に話しを聞くことにしている。
- 保護者は、クレームとは考えていない。あくまでも我が子可愛さである。その気持ちを受け止める感知力・判断力・リスク管理等を保育者は修得することが必要である。

今後、事故や災害等への予見能力を学ぶとともに、子どもの発達を含めた対応法について次回に継続して検討するとした。

令和3年度 第2回教育課程編成委員 報告

1. 開催日時

令和4年1月18日（火）16：30～17：40

2. 開催場所

2階204教室

3. 委員

	氏名	所属等	出欠
	竹本 榮	大阪市私立保育園連盟副会長	欠席
	宇都宮 彰治	元大阪市立学校園長	出席
	水戸井 ゆかり	第二善児園園長	出席
	萩野 寿美	勝山愛和第四幼稚園 園長代理	出席
	福本 光美	勝山愛和第二幼稚園 園長代理	出席
	三上 教道	学校長	出席
	吉本 春樹	副校長	出席
	三上 聡子	学科長	出席
	入江 実	教授	出席
	西林 幸三郎	特任教授	出席
	日村 義正	学務次長	出席
	松葉 修孝	学務部	出席
	中島 仁志	学務部	出席

4. 内容

1) 挨拶

前回に引き続き、第2回目の教育課程編成委員会の会議を開催し、各先生方のご意見を拝聴し、文科省の決まっている科目以外で検討したい。

2) 教育課程について

本校独自科目並びにカリキュラムマップの概要の説明

① 独自科目

身体表現・インターンシップなどの実施。身体表現は前回に意見交換した。インターンシップ（職業体験）については、日常の保育活動や年間を通じての様々な園行事などにインターンシップとして参加し、興味・関心・意欲の向上、問題発見や問題解決能力の育成、保育実践のための思考や理解の基盤づくり、知識の総合化と実践化、望ましい人間関係を築く態度の形成、豊かな人間性や価値観の向上の形成に取り組み、教育実習・保育実習などで培われる子どもの理解の間隔を子どもたちとの自然な関わりの中でより研ぎ澄まされたものにする。

② 特別教育活動（その他科目）

学生の教養を高め、望ましい人格形成に資するために、「特別教育活動」を開設する。内容は、学外見学・学内行事・特別講座を予定している。

「学外見学」については、天王寺動物園・大阪市立科学館・同長居植物園・自然史博物館・同阿倍野防災センター・キッズプラザなどである。

「学内行事」は、新入生歓迎会・ミニフェスタ・聖徳祭・送別会など。

「特別講座」は、マナー講習・救命講習・安全講習・防災訓練・保護者対応・手話講座等である。

③ カリキュラムマップ

資料を基にⅠ・Ⅱ部の在学期間中におけるカリキュラムの科目開設とその時期並びに、実習との関連などについて説明。

3) 意見交換

- ・ 「身体表現」については、年齢に応じたダンスの組み立てを体験することが保育現場に立った際、役立つ内容である
- ・ 「安全・防災教育」については、過去に池田小学校の事件で教師が教室に不在であった関係から、児童への無差別殺傷事件となり、対象児童に大きな影響を与えたことを踏まえ平素から重要性を強調していく必要がある。
- ・ 「学外見学」は、昨年度並びに本年度、新型コロナウイルス感染症による行政指導から活動の制約や学外見学先の都合による中止、もしくは実施時期の変更や見直しなどがあったため、当初の計画通りにはならなかった。この学外見学は、保育現場においても保育者が子どもたちを引率して園外保育・遠足行事の一環である関係から、是非継続すべきである。

これらの意見を基にして、次年度における教育活動を可能な範囲で実施できるように検討していきたい。